

江府町の地域おこし協力隊の活動日記

Vol. 20

『3年間の活動を通して』

あつと言う間の3年でした。まったく農業を知らない状況からスタートした1年目は長岡理事長の指導のもと、「この時期は何をすれば良いのか？」を学び動く年。2年目は1年目で学んだ事を昨年の予定を確認しながら復習し行動する年。3年目は2年間で学んだ作業の計画を立て、正しいかを確認しながら行動する年。

今はJAの皆さん、町内農業者の皆さんともすっかり顔馴染みになれたかと思えます。非農家出身・農業未経験のゼロからスタートして、今こうして次のステップに進めるのも皆さまのおかげです！ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

最後に、何度失敗したり言われた事を忘れていたり、の凡ミスをして「失敗から学ぶ事も多い」と温かく指導してくれた長岡理事長に大きな感謝を！



まつもと よしふみ
法人宮市班 松本 良史

なんと、江府町で地域おこし協力隊の3年間の任務に幕を閉じるときが来ました。この3年間は非常に出来事が詰まった日々を過ごせました！様々なことに挑戦する機会を与えてくれた「地域おこし協力隊」という仕事は最高にやりがいがありました。自分が頭の中で描いているビジョンに向かうための大きな「押し」にもなり、とても感謝しております。

3年前に江府町を訪れて市民農園カサラファームと出会ったときを、大分昔のように感じます。あのときは江府町の自然と大山の風景に惚れて住みたいと思いました。市民農園カサラファームという施設を利用して、



農業中心の田舎暮らしを海外や日本の他県の人に体験させる「交流の場」として活用もできました。これからの時代を生きるために社会的な不満を持つ人や日本の文化に惚れて来る人など様々でした。数多くの人に刺激を与えることができたのではないのでしょうか。そう思ってくれていると嬉しいです。

カサラファームの活動に取り掛かって応援をしてくれた人には感謝しています。これからも独自の場所で引き続き活動を行います！

くわはた さいもん
農業振興班 栗畑 才文

今回で町報の記事を書くのも最後になるんですね。3年というのもとても早いものです。ついこの間に移住してきたような気もするし、もっと前からここに住んでいたような気もしています。クロモジという植物に出逢って、夢中でいろんな実験をさせてもらったり、柿原集落では、一緒に竹林整備をさせてもらったり、竹炭作りを教わったり、素晴らしい人たちとの出逢いがあり、とても楽しく学びの多い充実した3年間でした。

自分の人生にとって、やはりこの自然豊かな地に身を置けたという事はとても大きな幸せな選択だったと思います。朝起きれば、鳥の鳴き声、緑のざわめきや川の流れる音……そして雄大な大山の素晴らしい景色。こんな贅沢な暮らしはないなあ毎日感動していると言っても過言ではないくらいです。そして、まだまだ、この地で学びたいことは山ほどあります。植物から学ぶこと。町の人たちから教わる技術や知恵。多くのことを学ばせてもらいながら、これからも、もっともっと楽しい輪を広げていきたいと思っています。

最後に……右も左も分からない私たちに優しく接して下さった江府町のみなさん！3年間本当にありがとうございました！引き続き、お世話になります！これからもどうぞよろしくお願いいたします。



いわさき ちえ
観光振興班 岩崎 智恵